

いちご一季成り性品種を用いた夏どり栽培における苗養成技術

いちご一季成り性品種の越年苗を、2月下旬から無加温ハウス内で養成し新たに葉を6枚展開させることにより、再び花芽分化できる苗となります。得られた苗を、短日処理または遮光率75%の寒冷紗でトンネル被覆することにより6月に花芽分化した苗を得ることができます。

イチゴ夏どりに向けた苗養成スケジュール

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月				
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
	ポット苗露地で越冬																										

凡例

;仮植 ;ハウス搬入 ;定植 育苗期間; : 露地越冬; ██████████
 †;花成処理開始 ;;花成処理終了 本圃定植期間; ———— 収穫期間; ////////////////

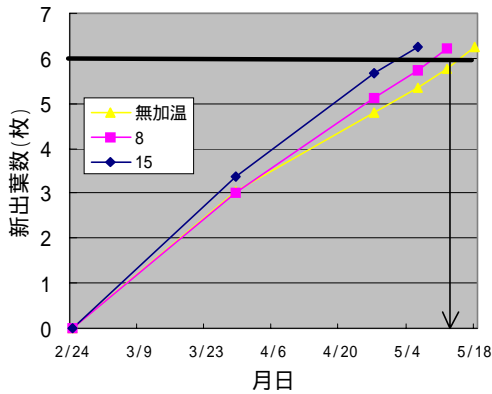


図1 苗養成期間の新出葉数の推移



図2 遮光処理および短日処理施設

苗の養成開始後、新たに葉が6枚展開するのに約80日間を要します。

花成促進処理は日長8時間の短日処理または遮光率75%の遮光処理を行います。

表1 新出葉数および花成促進処理方法が出蕾、開花に及ぼす影響

年次	苗養成温度	新出葉数 (枚)	花成促進処理方法	処理開始日 (月/日)	処理日数 (日)	定植日 (花芽確認日) (月/日)	花芽ステージ	出蕾日 (月/日)	出蕾株率 (%)	開花日 (月/日)
H	15	5.4	75%遮光	4/24	40	6/4	-	7/6	60	7/15
15	15	5.4	自然日長	4/24	40	6/4	-	6/29	44	7/8
H	15	6.2	75%遮光	5/6	37	6/11	2.6	7/8	100	7/14
16	8	6.2	75%遮光	5/12	31	6/11	2.4	7/10	98	7/17
	無加温	6.3	75%遮光	5/18	28	6/14	2.6	7/17	98	7/25
	無加温	6.3	短日処理	5/18	25	6/11	1.6	7/14	100	7/21
	無加温	6.3	自然日長	5/18	64	7/20 ^y	0	-	0	-

z : 未分化を0、肥厚期を1、2~4分期を2、がく片形成期を3とした指数

y : 未分化であったが定植した

5月中旬から約1ヶ月間の短日処理または遮光処理により花芽が分化します。

花芽を確認後定植し、約40日後に開花します。